



置かれた場所で咲く

校長 板見 剛
副校長 森 敏樹（作成）

『自分磨きの夏休み！！』

～新学期にどんな自分で臨みたいか？確かな自分の一步を踏み出す準備を～

明日から、夏休みが始まります。長与中学校の合言葉は、「置かれた場所で咲く努力」。今の自分の置かれた環境で、どれだけ根を張り、つぼみを膨らませることができたでしょうか。今学期を振り返ってみると、確かな成長を遂げた反面、惜しくも努力が実らなかったこと。思うような成果が出せなかったということもあることでしょう。

この夏休みは、改めて、ここまでの自分を見つめ直し、さらなる飛躍・成長につなげられる「自分磨きの夏休み」となることを期待しています。

人の成長は個人差もあり、様々です。他の人と比べるのではなく、4月より、自分の頑張りや努力で成長した面を、どんなささいなことでもいいです。1つでも多く見出してみましょう。そして、それを自信につなげられるよう、磨きをかけましょう

逆に、思うようにいかなかったことは、なぜうまくいかなかったのか。方法や手順が自分に合っていたか。準備期間はどうかなど、あらゆる面から、振り返り、今一度作戦を練り直してみるのもいいかもしれません。

この夏休みに、目指したい自分の目標を定め、2学期を迎えることを願って『自分の一步』という詩を紹介します。この詩は、進路担当の先生が、校舎1階の進路コーナーに掲示しているものです。

自分の一步 宮澤章二

いまわたしの踏みしめる一步は
だれか他の人の一步ではない
わたしの足が地上に刻む一步は
いつでもわたし自身の一步なのだ
他の人より一步先を歩くからといって
他の人より優れているとは限らない
他の人より一步後を歩くからといって
他の人より劣っているとは限らない
自分の目標を定めて歩き出したのだから
自分の一步をしっかりと信じて進もう
その決意が最後まで歩く力を生む
出発点には「人生」など、まだない
到達点にこそ、わが「人生」はあるのだ
歩きつづけ生きぬいた尊い証明として

『自分の命を守る判断と行動を』

この夏休み期間中、皆さんが大きな事故やトラブルに巻き込まれることなく、安全に過ごすことが、保護者・地域の皆さん、先生たちの願いです。ただ連日、海や川の事故、交通事故、熱中症等の報道が、ニュースで流れています。誰にでも、その危険はあります。自分事ととらえ、「自分の命を守るための、判断と行動」をどんなときでも心がけましょう。

○熱中症

熱中症を引き起こす3つの要因は、「環境・からだ・行動」と言われます。気温や湿度等が高い「環境」、体調不良や寝不足等の「からだ」、水分補給を長時間しない「行動」などがあげられます。自分の体の状態は、自分が一番わかります。無理は絶対に禁物です。いつもの体の調子が違うと、少しでも感じたら休養しましょう。十分な睡眠と食事といった規則正しい生活も欠かせません。

この夏は、熱中症のリスクが一段と高くなることを十分に理解し、屋内外での過ごし方を考えていきましょう。同じ日に配付した「ほけんだより」に詳しく紹介されています。必ず読み、予防に備えてください。

○交通事故

4月からの皆さんの登校の様子を見ると、ずいぶん成長が感じられます。横断歩道を渡る際も、小走りですぐ渡りが増えてきました。あいさつの声も以前より大きくなり、さわやかさを感じられる生徒も増えました。一方で、道路を広がって歩き、車の通行のさまたげになっていると、地域の方から電話をいただいたこともあります。長中生の安全を願っての連絡をととてもありがたく思います。

連日のニュースでは、横断歩道の列に車が突っ込むといった信じがたい事故もおきています。歩行者にとって安全なはずのエリアも、事故が起きる可能性があるということを示しています。歩行者にできることは、「できるだけ、ガードレールのある場所を歩く」、「信号が変わるときに無理な横断はしない」、「歩道のない場所では、道の端を広がらず歩く」ということが挙げられます。

○海・川などの水の事故

海水浴に行く際は、必ず監視員がいる場所を選びようにしてください。体調不良や寝不足気味で泳ぐことは危険です。監視員のいない場所では、みなさんの異変に気付くことができません。助けることもできません。安全が確保された場所で泳ぐようにしましょう。

また、用排水路・ため池等への転落事故における死亡者数は、全国で毎年100人以上となっています。このうち子どもの死亡者数は、令和5年度は0人でしたが、例年5人程度となっています。ゲリラ豪雨などが発生すると、一気に水位が増水し危険なため、用排水路などへ近づいたり、遊んだりしないようにしましょう。

